

平成最後の師走。

個人的な事情もあって今年の 9 月から 11 月は、師走のように駆け足で走り抜けた感があります。

今月からは腰を据えて、来るべき新年・そして新年度を迎える準備をしまいたいと思っております。

さて、師走ということで今年 1 年を少し振り返ってみることにします。

村の各事業につきましては、村民の皆様の多大なるご協力のお陰をもちまして、順調に進展しております。

○地方創生事業の交付金を活用し基幹産業である木造建築業、特に「白川大工」といわれる伝統的技能者、製材所やプレカット工場の後継者、そして森林組合の職員の後継者対策を始めました。神付地区に 1LDK4 室の木材関連事業者後継者対策の専用住宅を建設、オープンしました。この事業は、住宅だけでなく新規に雇用された従業員の方の給料の一部を 5 年間助成する制度も併せて実施しており、今年度既に 4 人の新規雇用が実現しております。

○教育環境の整備では、小中学校に ICT を活用して学習ができるように小学校にタブレット端末 40 台、中学校に 30 台を整備しました。昨年度構築した Wi-Fi 設備を活用して授業に取り入れています。Wi-Fi 設備の整備率は、岐阜県で 1 位の環境を整えています。

○今年のおちのこフェスタは、第 30 回を数える記念すべきイベントにするつもりで関係の皆様にご準備をさせていただいておりましたが、大雨が懸念される気象状況でしたので、やむなく中止としました。ところが、中止としたことが全国放送のニュース番組でテレビ放送され、改めて反響の大きさにびっくりしました。来年こそ第 30 回を盛大に開催したいと考えています。

○今年には有意義な講演会を 2 回開催することができました。1 つ目は、ツチノコイベントの 30 回目を記念して、ツチノコ民俗学研究者「伊藤龍平(いとう りょうへい)氏」による講演会。2 つ目は、美しい村づくり講演会で雑誌「ソトコト」の編集長「指出一正(さしで かずまさ)氏」による講演会です。日常では聞くことのできない、旬で一流の講師による話を、村民の皆様にご聴いていただきたいという思いの講演会。今後も計画してまいりますので、お見逃し、お聞き逃しの無いようお願いいたします。

思いのままに平成 30 年を振り返ってみましたが、行政では既に来年度の予算案作成に取り掛かっております。10 月に開催した集落座談会や議会を通じて頂いたご意見、連合 PTA の皆様の要望などを真摯に受けとめ、補正予算で対応していくことも視野に入れて、できる限り村政に活かし、実行し、実現してまいります。

今年 1 年間の皆様の村政に対するご協力に感謝申し上げますとともに、来る新年が皆様にとって幸多い年でありますようお祈り申し上げます。

平成 30 年 12 月 1 日

東白川村長 今井俊郎